

 評価のポイント

CL-新人. ニーズを捉える力(精神科)

[13-新人] 発達障害の基礎知識

① 自閉スペクトラム症（ASD）の基本的な特徴を説明してください

ASD は①社会性の問題（他人への関心が乏しい、人の気持ちを理解するのが苦手、人から関わられることを嫌がる、人への関わり方が一方的、表情が乏しいなど）、②コミュニケーションの問題（冗談や比喩が理解できず言葉通りに受け取ってしまったり、自分の興味のあることを一方的に話したりするため会話が成立しない、指示が理解できない、人の表情や場を読むことが苦手、せりふ口調や気持ちのこもらない話し方など話し言葉が独特）、③想像力の問題（目の前にないものや、実在しない事柄を想像したり、空想したりすることが苦手、概念や抽象的な事柄の理解が困難、会話のなかで省略されている部分を推測することが苦手であるため、常識や基本ルールがわからない人と思われがち）がある。さらに④その他の特有の症状（音や痛みや触覚などの感覚が敏感、または鈍感、計算力や記憶力など特異な能力が突出しており、知的機能がアンバランスなど）がある。資料 p.4～5 を参考に述べられていることを確認する。

② 注意欠如・多動症（ADHD）の行動特性を挙げ、3つの種類の 症状と特性を説明してください

ADHD は①不注意、②多動性、③衝動性を主症状とした疾患であることを確認する（資料 p.6）。3つの種類とは資料 p.8 を参考に「不注意優勢型」「多動・衝動性優位型」「混合型」についてそれぞれどのような特性があるかを述べられていることを確認する。

③ 発達障害の特徴を踏まえ、具体的な対応方法を考えてみましょう

具体的な対応方法については、ひとり一人の発達障害の特性をアセスメントすることが必要。その上で、個別性をとらえ、どのような場面やタイミングで、誰がどういう形で関わるのか、会話の方法、支援の方法など具体的な対応の工夫が求められる。資料 p.19～20 を参考にし、事例を通し考えていく。